

~~~~~  
プロジェクトA調査報告

## 特定外来生物ナルトサワギクの分布情報を募集します～特に大阪北部！

長谷川匡弘

本誌2017年12月号で横川学芸員が長居植物園でのナルトサワギクの記録を報告していますが(横川, 2017)、その記事を見ていただくと分かるように、大阪ではナルトサワギクは南に偏った分布をしています。たしかに大阪南部を歩くと、いたるところで目につき、道路法面、海岸付近の空き地などでは大群落を作っている場所もあります。

このような状況を見ると特定外来生物になったのも納得なのですが、ふと、大阪北部を歩いた時のことを思い出してみると、あまりナルトサワギクの印象がありません。淀川沿いや都市部でも数株が生育しているような場所は見かけますが、歩いたルート沿いにずっとナルトサワギクがあったなあ～という場所は無いように思います。ただ淀川を越えた北部は綿密な調査をしているのか、と言われるとどうも自信がありません…。

そこで、大阪府内のナルトサワギクの分布情報を集めたいと思います。特に大阪北部(淀川よりも北)の情報をよろしくお願いします！行ってみたけどなかったという情報もありがたいです。もちろん、大阪南部や都市部の情報も歓迎します。

なぜこの時期にこんな記事を？と思われる方もいらっしゃると思いますが、ナルトサワギクは年中花を咲かせていますので、他の花が少ない冬が一番見つけやすいのです。図1(16ページ)は2018年1月12日に撮影したものです。今年の冬は結構寒い日が

続きますが、本当に冬に撮影したのか？と思うくらい満開になっていました。

最後にナルトサワギクの特徴をまとめます。

- 先のとがった細長い葉が茎を抱くようについている(図2A:16ページ)
- 葉には小さい鋸歯があるが、茎の上部の葉や小さい葉では全縁に(鋸歯が無いように)見えることも。茎の下部の葉は羽状に裂けることもあります。
- 花は直径2cm程度。開花後期には舌状花(花びらのように見えるもの)が丸まり、遠目にはもっと小さく見える(図2B:16ページ)。
- 冬に黄色い目立つ花を咲かせている。

この時期に、写真のような花を空き地や海岸、道路脇などで咲かせていたら、まずナルトサワギクを疑ってください。念のため葉の特徴も確認してみましょう。

ナルトサワギクは特定外来生物に指定されており、栽培、植栽、生きたままの移動が禁止されています。情報は写真で結構ですので、長谷川までお知らせください。

なんだか募集ばかりでスママセン…。

### 文献

横川昌史(2017)長居植物園で見つかったナルトサワギクと大阪府内の標本採集地. Nature Study 63(12): 9

<はせがわ まさひろ:博物館学芸員>



図1：撮影日は2018年1月12日。貝塚市二色浜にて。ナルトサワギクだけがよく咲いていた。本文は4ページ。

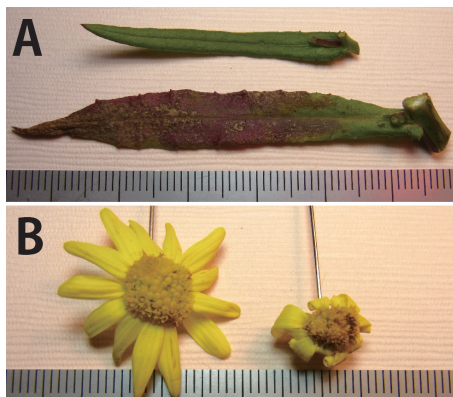


図2：A：ナルトサワギクの葉。上は茎上部、下は茎下部についていたもの。B：ナルトサワギクの頭花。直径2cm程度の大きさだが、開花後期には舌状花が丸まり、小さく見える。本文は4ページ。